

PET サマーセミナー2024 in 高松（8/30～9/1）を開催して

前田 幸人
Maeda Yukito

はじめに、令和6年1月の能登半島地震及び9月の記録的大雨により被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、PET サマーセミナー2024 in 高松（テーマ：シン・PET サマーセミナー）に影響を与えた台風10号によって被害を受けられた地域の皆さまにおかれましても、実行委員一同心よりお見舞い申し上げます。

PET サマーセミナー2024は、令和6年台風第10号による影響により、LIVE配信による開催となり、皆さまを高松へお迎えすることができず、本当に残念でなりません。しかしながら、参加登録していただいた皆さま、演者・座長の皆さま、ご協賛いただきました企業とご施設の皆さまのおかげで、8月30日からの3日間にわたるプログラムを無事に終えることができました。このように無事開催できたことを報告申し上げると共に、急遽LIVE配信に変更せざるを得なくなり、多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

プログラムは、ユーザーズミーティング、ワークインプログレス、イブニングセミナー、夜の学校、セッション、一般口述発表、シン企画であったクイズショー、企業展示の代わりにトークセッション、急遽ポスター口述発表に変更したポスター発表などです。特別講演はRodney J Hicks先生（Melbourne, Australia）にお願いし、「Finding My Ikigai : My Journey in PET and Theranostics」をご講演いただきました。どれも素晴らしい内容であり、演者の先生方、本当にありがとうございました。このような素晴らしい内容であったため、参加者数は525名となり、目標であった500名を超えました。

さて、今回、現地開催から急遽LIVE配信となっ

た本セミナーがどのように変更・運営されていったか、その裏側をスタッフの1人としてお伝えしたいと思います。台風10号は、8月22日にマリアナ諸島で発生し、発達しながら北上し、27日午前9時には鹿児島県奄美市の東の海上で「非常に強い」台風となりました。発生した当初は、本セミナーの会期前に高松は通り過ぎていると予想していました。しかしながら、その進行速度は非常に遅く、とうとう開催そのものや開催方法等の判断をすべき事態になってしまいました。台風10号は勢力を維持しながら北上し、29日午前8時頃に「強い」勢力で鹿児島県薩摩川内市付近に上陸し、毎時15kmという非常にゆっくりとした速度で九州・四国地方を横断した後、9月1日正午に東海道沖で熱帯低気圧に変わりました。このように全国的にみると会期の3日間にわたって影響しました。事務局の最初の対応として、8月27日正午「実行委員会にて協議の上、予定通り、8/30(金)、8/31(土)、9/1(日)にて現地で開催いたします。ただし、交通機関の運休や移動できない可能性もございますことから以下対応とさせていただきます。」とお伝えしました。この時点で、高松までの交通手段がなくなり、来ることができない方もいるであろうと予想し、演者の先生方にはデータをご提出いただき、現地へ来られなくても動画として流すこと等を考えていました。また、台風の影響は通常1日程度で、前か後ろにずれれば、2日間は通常通りに現地で開催できると考えていました。しかし、8月28日15時の時点で、台風の速度や報道等により、会期中3日間とも大きな影響を受けることが予想されることから現地開催に加え、会期後のオンデマンド配信を予定することも考えま

した。その後、各交通機関の運休の情報等から、演者、座長の先生から高松に来ることができないとの連絡が増えてきました。おそらく中には無理をしても現地に来られる方もいらっしゃるだろうと思いい、場合によっては命の危険もあると考え、現地開催中止についてもいよいよ判断する時だと思っていました。筆者の経験では、2018年7月に他の学術大会が広島で開催予定でありましたが、豪雨災害で中止となりました。この際、参加者の中には、危険があるにもかかわらず、無理をして現地へ行こうとする方もいました。危険をおかし命を失うより、「開催できてたね」くらいで終わった方が良くと思います。命を救う仕事をしている我々が、このようなことで命を失ってはいけません。このような考えのもと、急遽、運営事務局、現地スタッフ、実行委員及び千田道雄先生（PET核医学分科会会長、Web出席）で会議を行い、現地開催を中止することとLIVE配信による開催となりました。この会議で重要であったポイントは、西山佳宏大会長が参加者の安全を第一に考え開催中止を判断したこと、千田先生が可能であればLIVE配信にて開催してほしいと言われたこと、現地の映像スタッフがLIVE配信での開催ができる（1日で準備できる）と言われたこと、この3つであったと思います。本セミナーに対する熱い思い、準備してきたスタッフの思いとコロナ禍でのWeb開催の経験、すべてが重なり、PETサマーセミナー2024が動きました。この会議直後の8月28日21時に「台風の影響による現地開催中止とLIVE配信に関する緊急通知：PETサマーセミナー2024 in 高松の開催について、台風10号の影響により、皆さまの安全を第一に考え、8月30日（金）～9月1日（日）のすべてのプログラムの現地開催を中止することを決定いたしました。ただし、共催セミナーを含めて、すべてのセッションにおいて、8月30日（金）～9月1日（日）と同じ日程、同じ時刻でLIVE配信を行いたいと考えております。」とホームページで連絡させていただきました。開催方式の変更を決定した8月28日（水）夜からの24時間は、本当に時間との戦いでありました。実際の運用については、プロフェッショナルのスタッフにお任せするしかありません。要所要所で、運用の方向性等について運営事務局より提案され、内容を確認してGOサインを出すということを何度も行いました。

8月29日は、LIVE配信用のプログラム再編成や、座長・演者、参加者への連絡、協賛企業様への連絡等、優先順位を的確に判断し進めていく必要がありましたが、時間が過ぎていき、本当に無事開催できるのか不安がありました。このような中、皆さまから寄せられたご心配や励ましのお言葉は大変心強いものであり、勇気づけられました。作業等も思ったようには進まないこともありましたが、スタッフが一丸となって対応したおかげで8月30日13時30分から無事ユーザーズミーティングがスタートできました。このあとは、座長や演者の先生とのやりとりにおいて少し混乱がありましたが、大きな問題はなかったと思います。「シン・PETSS 2024 QuizShow—オールスター夢の協宴—」の開催方法を視聴者全員参加型のクイズ大会にしたり、エクスカージョンの時間に展示企業様とのトークセッションと変更したり、運営事務局と実行委員で知恵を出し合いました。結果、即興とは思えない程の良い企画になったのではないかと考えています。大会3日目の最終日には、余裕も出て、少し楽しんでもらえるような企画も行うことができました。

最後に、ご参加いただいた皆さま、サポートいただいた企業や関連施設の皆さま、映像関係をはじめとする現地スタッフの皆さま、運営事務局の皆さま、多くの方々に心より感謝申し上げます。西山大会長のもと、みんなが力を合わせ開催できたPETサマーセミナー2024、シン底、誇りに思います。この経験は筆者の人生において忘れられない大切な思い出、そして宝になりました。2025年は、石川県で皆さまにお会いできることを楽しみにしています。今回、このような経験をさせていただき、本当にありがとうございました。皆さま、いろんな「シン」を楽しんでいただけましたでしょうか。



台風が去った後の高松の空の下で

（香川大学医学部附属病院 医療技術部）